

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	阿武町家庭教育支援チーム (呼称:あすなろの会)
活動開始年度	平成28年度(2016年度)
活動拠点	阿武町町民センター
活動範囲	阿武中学校区(阿武町全域)
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援基盤構築事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業() <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 市町単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>9</u> 人 民生課職員2人、民生児童委員2人、SSW1人、SC1人、学校管理職1人、指導主事1人、社会教育主事1人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【子ども支援会議】 福祉部局と教育委員会、学校関係者による情報交換ならびに対策協議会を2か月に1回開催している。 【相談対応のサロンを開催】 子育てに悩みをもつ親を対象としたサロンを毎月、平日の夜に開催している。親子で参加することが可能であり、児童生徒は多目的ホールでニュースポーツを体験することができる。 【訪問型家庭教育支援の実施】 支援が必要な家庭についてはチーム員が訪問し、児童生徒や保護者の相談対応等を行っている。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部局と学校教育課、社会教育課、学校が連携したチームであり、全ての情報を共有し効果的な支援の方法を協議・実践する場が確立している。 ・昨年度は、継続的な相談対応が保護者の気持ちの安定につながり、また、家庭教育支援の具体的な取組により、不登校児童が学校に通うことができるようになった。 ・引きこもり傾向にある児童生徒と一緒にサロンに参加させることにより、子どもの心身の健全育成を図ることが出来ている。体を動かし、他人と交流することで親だけでなく子どもにも笑顔が見られるようになった。チームとして親子双方の支援を心がけている。

活動において苦勞した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンは全家庭を対象としているが、不登校や家庭環境的に支援を必要とする保護者など、深刻な状況にある保護者ほどサロンへの自主的な参加が難しい。福祉部局と学校が情報を共有し連携することにより、支援が必要な保護者に参加の声かけをすることができるようになった。 ・問題を抱える家庭のプライバシーに関わることについて、地域の支援員の方がどこまで介入できるかという悩みがある。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援システムの拡大構築 (保育園との連携、家庭教育学級の開催等)
問合せ先	<p>(部署・氏名等)阿武町教育委員会 宮崎雅史 (TEL)08388-2-0501 (E-mail)kyoui03@town.abu.lg.jp</p>